

第1学年外国語学習指導案

授業者 飯窪 実香

1 単元名

Program 6 The Way to School (Sunshine English Course 1)

2 単元について

○教材観

本単元は、映画『世界の果ての通学路』を題材に、エミリーと健が映画の主人公のジャクソンが住むケニアの通学事情等について知る場面から始まる。本文の内容を読み進めていく中で、ジャクソンは、妹と15kmの道のりを毎日2時間かけて通学し、キリンなどの動物が生息するサバンナでは、時に、象に襲われることもあるほどの険しい通学路であることを知る。また、親は、彼らが安全に通学できるようにと毎日祈っている。では、なぜそんな思いをしてまで学校に通うのか。それは彼には叶えたい夢があるからである。夢を持つこと、追いかけることは、自分自身の生活を支えてくれることを知る。

このように、世界の様々な通学事情について知り、命を危険にさらしながら、片道2時間かけてまでも、学校に通う子どもがいるという事実を目を向けさせ、安全に学校に通えることの幸せや、勉強することの意義を考えさせたい。また、自分が学校に通うことの意味についても改めて考える機会とし、自分自身が学校に来る理由について考えを深めさせたい。

さらに、総合的な学習の時間では、進路学習に取り組み、夢や自分自身の将来、生き方について考えてきた。夢をもつことあるいは追いかけることがどれほど自分の人生を豊かにするのか、ということにも触れ、自分自身の生き方についても教科横断的に深く考えさせたい。

○生徒観

本学級の生徒たちは、明るく活発で、英語の授業に対しての意欲も高い。授業中の発言や的を射た本質に迫るような質問、2・3年生で学習するような内容に対しても学習意欲を示すこともある。英語を発話することに対しては抵抗感もなく、Small Talkなどで自分の考えを英語で伝えることにも積極的な姿が見られる。ただ、一方で、英語の学習、特に「書くこと」に対する苦手意識をもっている生徒も少なくない。小学校の英語学習では、主に「聞くこと」「話すこと」を中心に、資質・能力を育成しているため、中学校では、小中のつながりを意識し、「読むこと」「書くこと」における指導を充実させていきたい。

本学年の英語教育改善プラン推進事業のアンケートでは、「英語の勉強は好きか」という問いに、「そう思う」「どちらかというと思う」と肯定的な回答をしたのは、66.1%であったが、「英語の勉強は大切か」という問いに対しては、92.4%だった。また、「英語の授業で学習していることは、将来、社会に出たときに役に立つと思うか」では、93.2%が肯定的な回答をした。このことから、将来的には、学習している内容が役立つだろうと思えるが、その気持ちが、英語の学習には直接的には結びついていないということが分かる。現在の英語教育では、相手に配慮しながら、互いの考えや気持ちを主体的に伝え合うことが重要である。また、英語を手段として活用するだけでなく、世界に目を向け、自分の考えを伝えることができる国際人としての素地を育ませたい。

○指導観

本単元では、映画『世界の果ての通学路』の主人公ジャクソンの過酷な通学事情を知り、それでもなお、夢を叶えるため学校に通っているということを、本文読解を通して学習する。

そのため、指導にあたっては”Why do you come to school?”を〈単元を貫く問い〉として設定し、一人一人に迫らせたい。まずは、ケニアに住むジャクソンがいかに危険な通学路で学校に通っているのかについて本文を読み理解させる。その上でなぜジャクソンは危険にさらされてもなお学校に通いたいのかを考えさせたい。映画『世界の果ての通学路』の予告動画や来日の際のインタビュー動画等を利用して、ジャクソンが学校に通う理由について十分に理解させたい。その際、自分自身の通学時間や通学路と比較させ、世界には、いろいろな通学事情があることに気づかせたいと思う。後半では、”Why do you come to school?”という問いを自分事として捉えさせ、なぜ自分たちが学校に来るのかについて、先輩や級友の考えを知る中で自身の考えをより深めさせたい。また、この問いに対するやり取りを通して考えたことや感じたことを書くことにつなげたいと考えている。

3 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標(第1学年)

【話すこと(やり取り)】

社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことを、理由を述べるのに必要な語句などを用いて、伝えたり相手からの質問に答えたりすることができる。

【書くこと】

社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことを、理由を述べるのに必要な語句などを用いて、まとまりのある文章を書くことができる。

4 単元目標

学校に来る理由について自分の考えを深めるために、世界の通学事情について書かれた英文を読み、読んだことをもとに考えたことや感じたことを理由とともに伝え合ったり、まとめたりすることができる。

5 言語材料

○表現

人称代名詞目的格(him, her),

理由を尋ねる文と答える文(Why do you ~? と Because ~.)

【既出】人称代名詞主格(he, she), 所有格(~'s)

○語彙

way, him, detective, monster, pirate, everybody, early, there, movie, romantic, *get up*, tell, hour, his, giraffe, beyond, them, across, savanna, amazing, dangerous, attack, children, child, adult, safe, parent, pray, safety, find, ~ *you know.*, *No way!*, anything, writer, leader, singer-songwriter, musician, athlete

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと(やり取り)	・代名詞や Why, Because の特徴や決まりを理解している。 ・ジャクソンの通学事情について、考えたことや感じたことなどを、代名詞や why, because などを用いて伝え合う技能を身に付けている。	学校に来る理由について自分の考えを深めるために、世界の通学事情について書かれた英文を読み、読んだことをもとに、考えたことや感じたことを理由とともに伝え合っている。	学校に来る理由について自分の考えを深めるために、世界の通学事情について書かれた英文を読み、読んだことをもとに、考えたことや感じたことを理由とともに伝え合おうとしている。
書くこと	・代名詞や Why, Because の特徴や決まりを理解している。 ・ジャクソンの通学事情について、考えたことや感じたことなどを、代名詞や why, because などを用いて書く技能を身に付けている。	学校に来る理由について自分の考えを深めるために、世界の通学事情について書かれた英文を読み、読んだことをもとに、考えたことや感じたことを理由とともに書いている。	学校に来る理由について自分の考えを深めるために、世界の通学事情について書かれた英文を読み、読んだことをもとに、考えたことや感じたことを理由とともに書こうとしている。

便宜上、以下のように示す。

ア:「話すこと(やり取り)」知識・技能 イ:「話すこと(やり取り)」思考・判断・表現

ウ:「話すこと(やり取り)」主体的に学習に取り組む態度

エ:「書くこと」知識・技能 オ:「書くこと」思考・判断・表現

カ:「書くこと」主体的に学習に取り組む態度

7 単元の指導と評価の計画(全7時間)

時間	目標(◆)主な言語活動(丸数字)	評価			
		知	思	態	◎評価規準<評価方法>
1	<p>◆タイトルから本文の概要を予測することができる。</p> <p>◆単元の目標を理解し、新出語句の意味と発音を理解することができる。【New Words】</p> <p>①扉(P69)で本文の導入を行う(タイトルについて、How do you come to school?, How long does it take?のスマールトーク)。</p> <p>②単元の目標を理解させ、そのために必要となる新出語句の意味と発音を全体で確認する。</p> <p>③ペアで発音の確認をし、個人で書き取り練習を行う。</p> <p>④問:Why do you come to school?を本時の振り返りと共に、リフレクションシートに記入する。 (答え方は、単語レベルでもよしとする。)</p>				<p>※本時では、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。</p> <p><単語テスト(後日)> <振り返りシート></p>

2	<p>◆人について「～を」「～に」と言うときの代名詞を活用できる。【Scene1】</p> <p>①教師用デジ教(P70) Scene1 の Video を視聴し,代名詞の目的格が,これまで学習した主格や所有格と形が変わることに気づかせる。</p> <p>②教師用デジ教(P71) Listen と Speak & Write を活用し,目的格の使い方を身に付ける。</p> <p>③問:Why do you come to school?を本時の振り返りと共に,リフレクションシートに記入する。 (答え方は,単語レベルでもよしとする。)</p>			<p>※本時では,目標に向けて指導は行いが,記録に残す評価は行わない。</p> <p>〈振り返りシート〉</p>
3	<p>◆Whyと Because を使って理由を尋ねたり,理由を答えたりできる。【Scene2】</p> <p>①教師用デジ教(P70) Scene2 の Video を視聴し,理由を尋ねるときに,疑問詞 Why を使うことや理由を答えるときには, Because を使うことに気づかせる。</p> <p>②教師用デジ教(P71) Listen と Speak & Write を活用し,理由を尋ねる文と理由を答える文の作り方を理解し,使い方を身に付ける。</p> <p>③3年生の先輩の意見を聞かせる。(input)</p> <p>④問:Why do you come to school?を本時の振り返りと共に,リフレクションシートに記入する。 (答え方は,学習した Because を使えるように指導する。)</p>			<p>※本時では,目標に向けて指導は行いが,記録に残す評価は行わない。</p> <p>〈振り返りシート〉</p>
4 本時	<p>◆「なぜ学校に通うのか」自分の考えを深めるために,ジャクソンくんの思いを知ったり,やり取りをしたりして,自分の考えを書くことができる。【Think1&2】</p> <p>①教科書(P72&73)の対話文を読み,主人公ジャクソンの通学事情などについて,教師と生徒のやり取りを通して概要を捉える。 ・T-Sのやり取りを通して本文内容について概要を捉える。</p> <p>②危険にさらされてもなお学校に通うジャクソンくんの思いも比較しながら,なぜ自分自身は学校に通うのかについて考えを伝え合う。 ※夢を持つことが危険なサバンナの中を通うジャクソンを支えていることに気づかせる。</p> <p>③3年生の先輩の意見を聞かせる。(input)</p> <p>④問:Why do you come to school?を本時の振り返りと共にリフレクションシートに記入する。</p>			<p>※本時では,目標に向けて指導は行いが,記録に残す評価は行わない。</p> <p>〈振り返りシート〉</p>

	(答え方は,学習した Because を使えるようにする。また,やり取りを通して深められた理由を支える+aの supporting 文を付け加えさせる。)				
5	◆ジャクソンくんの通学に関する本文を読み,要点を捉えることができる。【Think I & 2】 ①教科書(P72&73)の対話文を読み,主人公ジャクソンの危険を顧みないでなぜ学校に通うのかについて,教師と生徒のやり取りを通して要点を捉える。 ・要点だと判断した根拠となる英文を見つける。 ②問:Why do you come to school?を本時の振り返りと共に,リフレクションシートに記入する。 (答え方は,学習した Because を使えるようにする。また,やり取りを通して深められた理由を支える+aの supporting 文を1~2文加える。)				
6	◆自分自身が学校に行く理由について自分の考えを伝え合うことができる。 再度 Program6全体を読んだり,動画を見たりする。これまでの本文の内容理解や第4・5時で得た他の意見などをもとに,自分自身が学校に行く理由について生徒同士でやり取りをする。	や	や	や	◎評価規準ア・イ・ウ 〈振り返りシート〉
7	◆自分自身が学校に行く理由について考えを伝え合い,まとまった文章で表現する。 【Interact & Personalization】 これまでの本文の内容理解や第4・5・6時で得た他の意見などをもとに,自分自身が学校に行く理由についてまとまった文章で表現する(書く)。また,今後どのような気持ちで登校していきたいか(登校目的・意欲)についても書く。	書	書	書	◎評価規準エ・オ・カ 〈振り返りシート〉
後日	パフォーマンステスト(※)				

※パフォーマンステストについて

○パフォーマンステストの内容

Program 6 The way to School を読んだり,「世界の果ての通学路」についての動画を見たりした上で,主人公ジャクソンが危険な思いをしたり,2時間という長い時間をかけてまで通学したりするのは,叶えたい夢があるからだとなりました。そのうえで,以下の質問に自分の考えを理由と共に書いてください。

問 Why do you learn English?

○パフォーマンステストにおけるルーブリック(評価規準)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	Because などを用い, 誤りのない正しい英文を書くことができる。	学校に来る理由について自分の考えを深めるために, 「なぜ英語を学ぶのか」について, <u>世界の通学事情にも触れながら</u> , 考えたことや感じたことを理由とともに書いている。	学校に来る理由について自分の考えを深めるために, 「なぜ英語を学ぶのか」について, 世界の通学事情にも触れながら, 考えたことや感じたことを理由とともに書こうとしている。
b	Because などを用い, 誤りが一部あるがコミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて書くことができる。	学校に来る理由について自分の考えを深めるために, 「なぜ英語を学ぶのか」について, 考えたことや感じたこと理由とともに書いている。	学校に来る理由について自分の考えを深めるために, 「なぜ英語を学ぶのか」について, 考えたことや感じたこと理由とともに書こうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

○パフォーマンステストにおける具体的なゴール(b)

Because I want to talk with people in English and make friends around the world.

I have a dream like Jackson. So, I study English hard at school every day.

※下線部は(a)を想定

8 本時の学習

(1) 日時: 令和4年11月7日(月) 6校時

(2) 場所: 視聴覚室

(3) 目標: 「なぜ学校に通うのか」自分の考えを深めるために, ジャクソンくんの思いを知ったり, やり取りをしたりして, 自分の考えを書くことができる。

(4) 展開

時間	生徒の活動	指導者の活動	指導上の留意点
2	【Greeting】 教師と生徒であいさつをする。		
8	<p>【Warm-Up (Small Talk)】</p> <p>1. スライドを見せながら本時のテーマを知る。 T: Look at pictures on TV. This is me, now. This is me 8 years ago, 2014. This is my school. This is my house. I go to the school by bus and it takes 20 minutes. I feel very worried but very excited too. Topic: ①How do you come to school? ②How long does it take?</p> <p>2. 二人ペアになり, スモールトークを行う。 T: So, today, let's talk about the way to school. How do you come to school from your house? Ss: チャリ~! 徒歩~! T: Ok, so YOU come to school by bike. (ジェスチャーなどを使いながら協調して) Then, YOU come to school on foot. Very nice. How long does it take from your house to Oshihara JHS? Ss: 10 / 30 min. T: (該当の生徒を指しながら) It takes 10 min for YOU. So now let's ask your partners. Before that, let's practice how to ask and answer. T: How do you come to school? Ss: How do you come to school? T: How can you answer with this? Ss: I.. come to.. school ---. T: Good. T: Alright, let's move on to next question. How long does it take? Ss: How long does it take? T: How to answer this? Ss: It.. takes.. 10.. minutes.</p>		<p>写真を見せながら, 説明をする。時制は過去形であるべきだが, 今回は, 内容に注目させたいので, あえて現在形で行う。</p> <p>・内容については, 第1時でも行っているので, スムーズに進行できる。 ・通学の方法について問いていることや本時のトピックについて気づかせる。</p> <p>・生徒との会話を大切に, 促したり導いたりしながら, 英文を引き出す。</p>

	<p>T: Now let's talk with your friends.</p> <p>3. 生徒同士で①②の質問をお互いにし合う。</p> <p>4. 何人かの生徒を指名し、全体で情報共有を行う。</p> <p>T: How do you come to school? S: I come to school by bike. T: Oh, by bike. How long does it take? S: It takes 10 minutes. T: 10 minutes! Your house is near to school. Oh, is it tough? Tired? Fun? </p>	<p>・生徒が英語レベルで答えた場合は、文でリキャストする。</p> <p>・心情についても触れる。</p>
20	<p>【Activity I】T-Sのやり取りで概要の把握</p> <p>T: Alright. So today let's talk about the way to school.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>目標の提示： 通学に対するジャクソンくんの思いを知り、やり取りを通して自分の考えを深めよう。</p> </div> <p>I. Think I の概要理解 ※教師用デジタル教科書</p> <p>①T-Sのやり取りから本文の内容を予想させる。 ※全体</p> <p>T: Please open your textbook to P. 72. What is the title of Program 6? (The way to school.) Do you know his name? (He is Jackson.) Who is she? (She is his sister.) Where is it? (Kenya / Africa.)</p> <p>T: Good. (写真を見せながら) This is Jackson's house. This is his school. Is it this close? (二枚の写真を近づけたり遠ざけたりして家と学校の距離感を想像させる) Is his way to school is straight? (単純ではなく丘を下ったり登ったりすることを想像させる)</p> <p>How does he go to school?, How long does it take?, How many kilometers is it? So let's find them out together.</p> <p>Let's watch the video.</p> <p>②Think I (P. 72) の本文の動画を視聴し、T-Sのやり取りを通して本文の概要を確認する。 ※全体</p> <p>T: Alright. What do you think?</p> <p>・How does he go to school? (He goes to school on foot.)</p> <p>・How many kilometers is it from his house to his school? (It's 15 kilometers.)</p> <p>・How long does it take to school? (It takes 2 hours.)</p> <p>So they go to school together.</p>	<p>・教科書本文の内容の概要理解に努める。</p> <p>・ピクチャーカードなどを使う。</p> <p>・黒板にキーワード(疑問詞)だけ板書し、動画を視聴する上でのポイントを伝える。</p>

	<p>③2回目の視聴をする。</p> <p>T: I'll play it again. After watching the video, I want to ask you more details: what animal does he see?, with who does he go to school? Listen and watch carefully.</p> <p>④2回目の視聴後, 以下の質問を生徒とのやり取りを通して確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・What animal does he see? ・Who is she? (She's his sister.) So they go to school together. ★How does he feel on the way to school? (He feels happy / sad / excited / tired / scared.) ★Why does he go to school? (Because he wants to go to high school / get a good job / meet friends / eat lunch / like studying.) ☆How do their parents feel? ★印は本展開において鍵となる発問 ☆印は補助発問 <p>2. Think2 の概要理解 ※学習者用デジタル教科書</p> <p>①T-Sのやり取りから本文の内容を予想させる。(個別)</p> <p>T: Alright. Now let's watch the second half. During watching the video, you can see another animal. (Giraffes (and elephants). Also, I want to ask you; (1) Are they safe on the way to school? (No, they aren't.) (2) Why not? (Because animals attack them.) (3) What kind of place is savanna? (It is a dangerous place but amazing place too.) (4) What do their parents do for them? (They pray for them.) Now I will give you 3 minutes to watch.</p> <p>※3分間, 個別に学習者用デジタル教科書を個々のレベルに応じ工夫して活用し, 学習目的(示した質問に答えられるように)のために学びをすすめる。</p> <p>②上記の質問を確認しながら本文の概要を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の質問の答えをT-Sを通して自然な流れで概要を確認する。 <p>③改めて, ジャクソンくんがなぜ学校に行くのか尋ね, 確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★Why does he go to school? (Because he has a dream.) ★How do their parents do for them? (They pray for them.) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャクソンくんがどんな思いで学校に通っているのかについては, 本文には記されていないが, 想像させることを大切にしたい。また, Think2 を視聴する前に, なぜジャクソンが学校へ行くのか親がどんな気持ちているのかという問いを投げかけることで, より Think2 の読解意欲を高めると共に内容理解を深めさせたい。 ・あくまで概要を把握するためのものなので, 「答え合わせ」のようにならないように気を付ける。 ・親の思いに気づかせる。 ・生徒たちの考えの変
--	---	---

		容を見たい。必要に応じて、ペアで話をさせる。
10	<p>【Activity2】</p> <p>1. 主人公ジャクソンくんからのメッセージを知る。</p> <p>T: Look at this! I got a message from Jackson to YOU!!</p> <p>Ss: え!俺たちに?!</p> <p>T: YES!! Do you want to see it?</p> <p>Ss: Yes!</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>メッセージ内容</p> <p>J: I go to school. Because I have a dream. How about you?</p> </div> <p>2. "Why do you come to school?"の問いに答える。</p> <p>①【やり取り1回目】を行う。</p> <p>T: Now it's YOUR turn. Let's answer the question from Jackson! First, let's talk with your friends.</p> <p>Ss: OK.</p> <p>T: Make a pair and talk about "Why do you come to school?" for 2 min. Remember? How do you "盛り上げる" your conversation?</p> <p>Ss: What? When? Why? How? etc.</p> <p>T: Very good. So how many turns do you need?</p> <p>Ss: 3回以上~!</p> <p>T: Alright! Let's talk about "Why do you come to school?" with your partners.</p> <p>②上級生のインタビュー動画を視聴する。(input)</p> <p>T: Actually, I went to get the interviews from 3rd graders. Please watch them. (After watching the video)</p> <p>T: How do they keep the conversation?</p> <p>※必要に応じて生徒同士で考えを共有させ、疑問詞を使うことでより内容を深められることに気づかせる。</p> <p>③【やり取り2回目】を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>やり取りのポイント(言語面)</p> </div> <p>(1) Because を使って答えることを意識させる。</p> <p>(2) 答えるときには、Because I want to ~. や Because I can ~.が</p>	<p>・Activity1 での学習を生かして、自分事ととらえて、考えさせる。</p> <p>・本来, because 以降も一文とするべきだが, 未習事項であるため, あえて二文に分けている。</p> <p>【中間指導について】</p> <p>・1回目のやり取りのあと "Why do you come to school?"に対する先輩たちの意見や質問のあとのやり取りを聞いて, 自分たちが考えるヒントを得る。また, やり取りを通してどんなところが良かったか, 真似したいかなどについて気づかせ</p>

	<p>自然な流れとなることを意識させる。(前時の復習)</p> <p>やり取りのポイント(内容面)</p> <p>(1) 会話を“盛り上げる”ために疑問詞を使うことを意識させる。 (2) 3ターン以上の会話を目指し内容を深めることを意識させる。</p> <p>④【やり取り3回目】を行う。</p> <p>T: What conversation did you have? ※机間巡視の際に内容に関する問いを言っているペアに目星をつけておいて、会話を全体で共有する。他の生徒からも質問する機会を作る。</p>	<p>る。</p> <p>【ペアについて】 毎回のやり取りはペアを変える。変え方は、偶数列の生徒が一つずつ前にずれるやり方。</p>	
3	<p>【Sharing I】T-Sで数人の生徒に尋ねる。</p> <p>T: I want to ask some students. Why do you come to school? S1: Because I want to meet my friends. T: What do you do with your friends? S1: We talk a lot. T: Oh, nice. What is the main topic? S1: Well, about K-pop idols. T: I see. (Clapping hands) ※数人の意見を聞く。 T: Could you ask me, please? (生徒から教師への質問を促す) Ss: Why do you come to school? T: Because I like teaching English. Ss: Oh! T: More questions? S1: Why (do you like teaching English) ? T: Because English is very useful for students' futures. S2: What else? T: Well, I like school lunch too. S3: What menu do you like? T: I love miso-soup and seaweed rice! Ss: Me too!</p>	<p>・文法的につたないところなどがあっても、教師が補いながら進めていく。 ・できるだけ、単語レベルではなく文レベルで言えるように促す。</p>	
5	<p>【Reflection (Writing)】</p> <p>1. ジャクソンくんの思いや友達とのやり取りを通して、改めて“なぜ学校に行くのか”という問いに対する自分の考えをリフレクションシートに記入する。</p>	<p>So now you will write your own idea on your reflection sheet. You can use your textbook and dictionaries if you want.</p>	<p>言語面: Because を使うことと主語+動詞の流れをしっかりとつかませたい。 内容面: 前時までの考えを振り返り、本文の概要理解ややり取りを通して自</p>

	2. 終わった人から本時の振り返りをリフレクションシートに書く。	When you finish, please write today's reflection sheet.	分の考えの変容などに気づかせたい。
2	【Greeting】 教師と生徒であいさつをする。		

(5) 評価

※本時は、「記録に残す評価」は行わないが、以下のように評価の観点に記載する。

「話すこと[やり取り]」の思考・判断・表現

十分満足できる状況(a)	おおむね満足できる状況(b)	努力を要する状況(c)と指導の手立て
「なぜ学校に通うのか」自分の考えを深めるために、ジャクソンくんの思いに触れながら、自分の考えを理由とともにやり取りしている。	「なぜ学校に通うのか」自分の考えを深めるために、自分の考えを理由とともにやり取りしている。	「なぜ学校に通うのか」自分の考えを深めるために、自分の考えを理由とともにやり取りしていない。 →机間指導で個別指導を行う。改善点について振り返りシートに記入する。

「書くこと」の思考・判断・表現

十分満足できる状況(a)	おおむね満足できる状況(b)	努力を要する状況(c)と指導の手立て
「なぜ学校に通うのか」自分の考えを深めるために、ジャクソンくんの思いに触れながら、自分の考えを理由とともに書いている。	「なぜ学校に通うのか」自分の考えを深めるために、自分の考えを理由とともに書いている。	「なぜ学校に通うのか」自分の考えを深めるために、自分の考えを理由とともに書いていない。 →机間指導で個別指導を行う。改善点について振り返りシートに記入する。

9. 参考文献

『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編』文部科学省

『Sunshine English Course I Teacher's Manual 解説編』開隆堂出版

『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 外国語』文部科学省 国立教育政策研究所